

令和4年

中国地方

一級河川の水質現況

Recent conditions of water quality of class A rivers in Chugoku region

2022

CONTENTS

水質調査結果	P 1
感覚的な水質指標による調査結果	P 7
ダイオキシン類の実態調査結果	P10
水質事故等の発生状況	P11

CONTENTS

令和 4 年 水質調査結果	1
1. 代表的な調査地点の水質	1
①水質が良好な地点	1
②水質が最も良好な河川	2
2. 環境基準の満足状況	4
3. 過去 10 年間の水質改善状況	6
令和 4 年 感覚的な水質指標による調査結果	7
感覚的な水質指標について	7
感覚的な水質指標による調査結果	7
令和 4 年度 ダイオキシン類の実態調査結果	10
ダイオキシン類実態調査結果	10
令和 4 年 水質事故等の発生状況	11
水質事故等の発生状況	11
<hr/>	
用語の解説	12

FOREWORD

中国地方の一級河川(国管理区間)の水質は、これまでの排水規制、下水道整備、河川浄化事業等の推進によって徐々に改善しており、特に芦田川の水質は大幅に改善しています。

こうした水質改善の背景には、排水規制や下水道整備のみならず、各地域や家庭での生活排水の汚れを減らす取組みや、流域でのクリーン活動等の啓発活動といった、流域の人々のさまざまな活動があります。これからも水質を維持・改善していくためには、このような各地域における努力を維持・発展させることが重要です。

令和4年 水質調査結果

1. 代表的な調査地点の水質

① 水質が良好な地点

天神川の「今泉」、「大原」、「小田」、「田後」、小鴨川の「関金」、「河原町」、「巖城」、斐伊川の「里熊」、「大津」の9地点が、水質が良好な地点※¹でした

代表的な調査地点※²のBOD年平均值

水系名	河川名	代表的な調査地点※ ²		
		地点数	県名	各地点のBOD年平均值(mg/ℓ)
千代川	千代川	6	鳥取県	用瀬 1.4 佐貫 1.3 稲常 1.3 源太橋 1.3 行徳 1.4 賀露 1.4
天神川	天神川	4	鳥取県	今泉 0.5 大原 0.5 小田 0.5 田後 0.5
天神川	小鴨川	3	鳥取県	関金 0.5 河原町 0.5 巖城 0.5
日野川	日野川	4	鳥取県	溝口 0.6 や幡 0.6 車尾 0.7 皆生 0.7
日野川	法勝寺川	2	鳥取県	法勝寺 0.7 福市 0.7
斐伊川	斐伊川	2	島根県	里熊(里熊大橋) 0.5 大津(神立橋) 0.5
江の川	江の川	9	島根県 広島県	吉田 0.8 粟屋 0.8 尾関山 1.1 三国橋 1.1 都賀大橋 0.7 川本大橋 0.7 桜江大橋 0.7 川平 0.6 江川橋 0.7
高津川	高津川	4	島根県	神田橋 0.6 金地橋 0.6 高角 0.6 高津大橋 0.6
吉井川	吉井川	6	岡山県	和気橋 0.7 熊山橋 0.8 弓削橋 0.7 備前大橋 1.1 鴨越堰 1.2 永安橋 7.5
旭川	旭川	4	岡山県	合同堰 0.7 乙井手堰 0.7 相生橋 0.7 桜橋 6.7
高梁川	高梁川	4	岡山県	湛井堰 0.6 川辺橋 0.7 笠井堰 0.7 霞橋 1.5
芦田川	芦田川	7	広島県	久佐 0.9 大渡橋 0.8 府中大橋 1.0 上戸手 1.1 中津原 1.2 山手橋 1.9 小水呑橋 4.4
太田川	太田川	8	広島県	柴木川下流 0.7 加計 0.8 高山川下流 0.7 王辰橋 0.8 太田川橋 0.8 玖村 0.9 矢口川上流 0.9 旭橋 1.4
小瀬川	小瀬川	3	広島県 山口県	小川津 0.8 両国橋 0.9 大和橋 1.0
佐波川	佐波川	5	山口県	堀 0.7 漆尾 0.7 真尾 0.6 新橋 0.6 佐波川大橋 0.7
合計		71		

※¹ BOD年平均值が、環境省の定める公共用水域水質測定結果の報告下限値の0.5mg/ℓである地点を、「水質が良好な地点」としています。

※² 河川の調査地点の合計101地点のうち、一級河川(本川)と国管理区間延長が概ね10km以上の一級河川(支川)における調査地点71地点を、「代表的な調査地点」としています。

令和4年 水質調査結果

② 水質が最も良好な河川

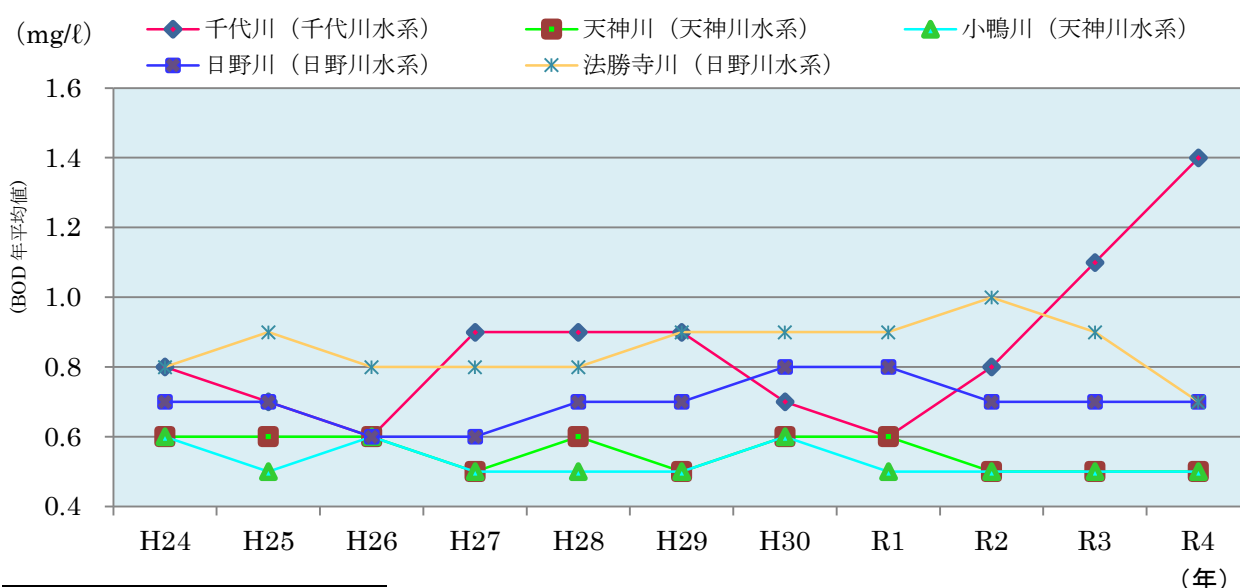
水質が最も良好な河川^{※3}に該当する河川は天神川、小鴨川の2河川でした。

河川の水質(BOD)状況

河川名(水系名)	河川のBOD値 ^{※4} (mg/ℓ)			
	年平均値		75%値	
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
千代川(千代川水系)	1.4	1.1	1.6	1.1
天神川(天神川水系)	<u>0.5</u>	0.5	<u>0.5</u>	0.5
小鴨川(天神川水系)	<u>0.5</u>	0.5	<u>0.5</u>	0.5
日野川(日野川水系)	0.7	0.7	0.7	0.8
法勝寺川(日野川水系)	0.7	0.9	0.8	1.1
斐伊川(斐伊川水系)	<u>0.5</u>	0.8	0.6	0.9
江の川(江の川水系)	0.8	0.8	0.9	1.0
高津川(高津川水系)	0.6	0.8	0.7	0.9
吉井川(吉井川水系)	2.0	2.0	2.0	2.3
旭川(旭川水系)	2.2	0.9	1.7	0.9
高梁川(高梁川水系)	0.9	0.8	1.0	0.9
芦田川(芦田川水系)	1.6	1.1	1.7	1.4
太田川(太田川水系)	0.9	1.0	1.0	1.2
小瀬川(小瀬川水系)	0.9	1.0	1.1	1.2
佐波川(佐波川水系)	0.7	0.6	0.7	0.6

【参考】過去10年間の河川水系別の水質(BOD年平均値)状況

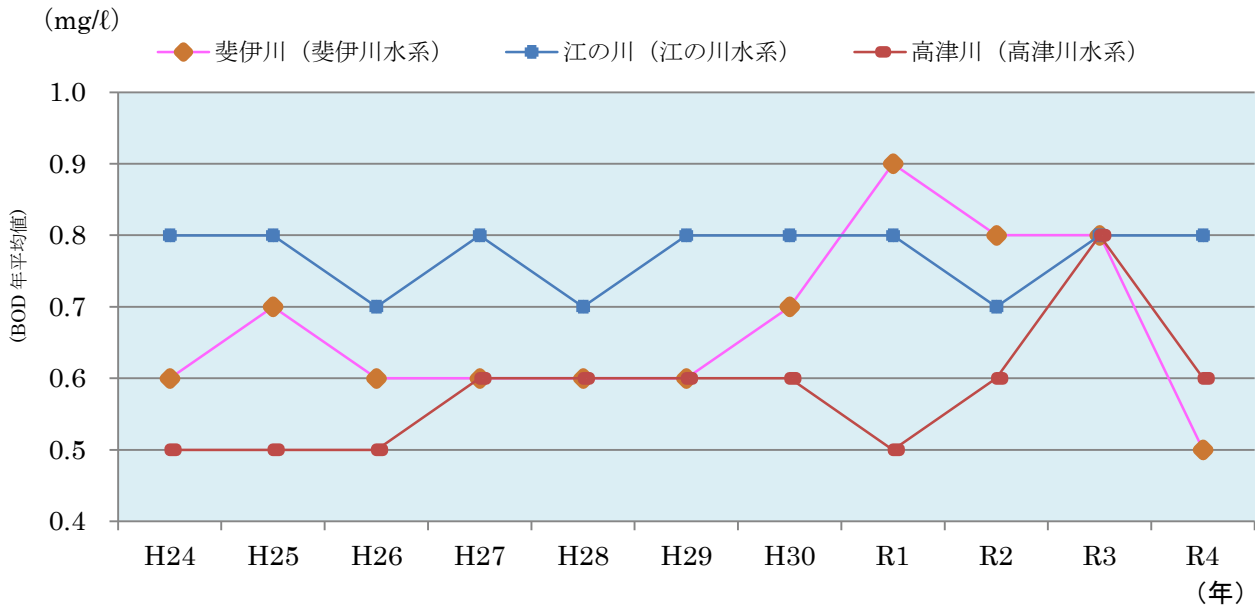
○鳥取県



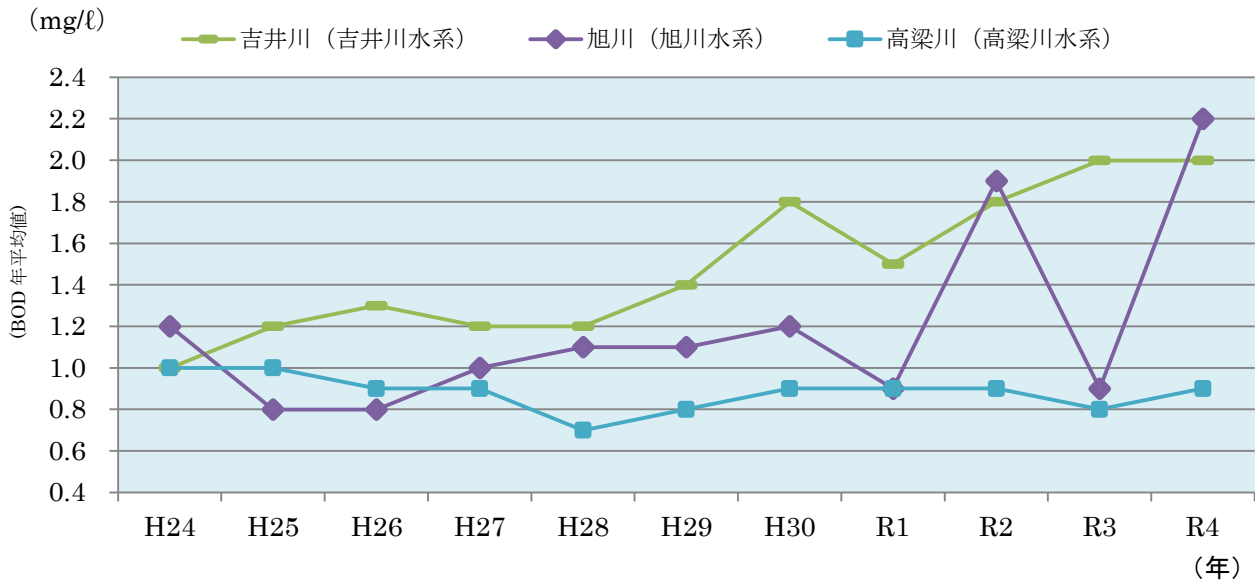
※3 河川のBOD年平均値とBOD75%値の両方が報告下限値の0.5mg/ℓである河川を、「水質が最も良好な河川」としています。

※4 河川の調査地点の合計101地点のうち、一級河川(本川)と国管理区間延長が概ね10km以上の一級河川(支川)における調査地点71地点のBOD年平均値とBOD75%値を、それぞれ河川毎に平均した値です。

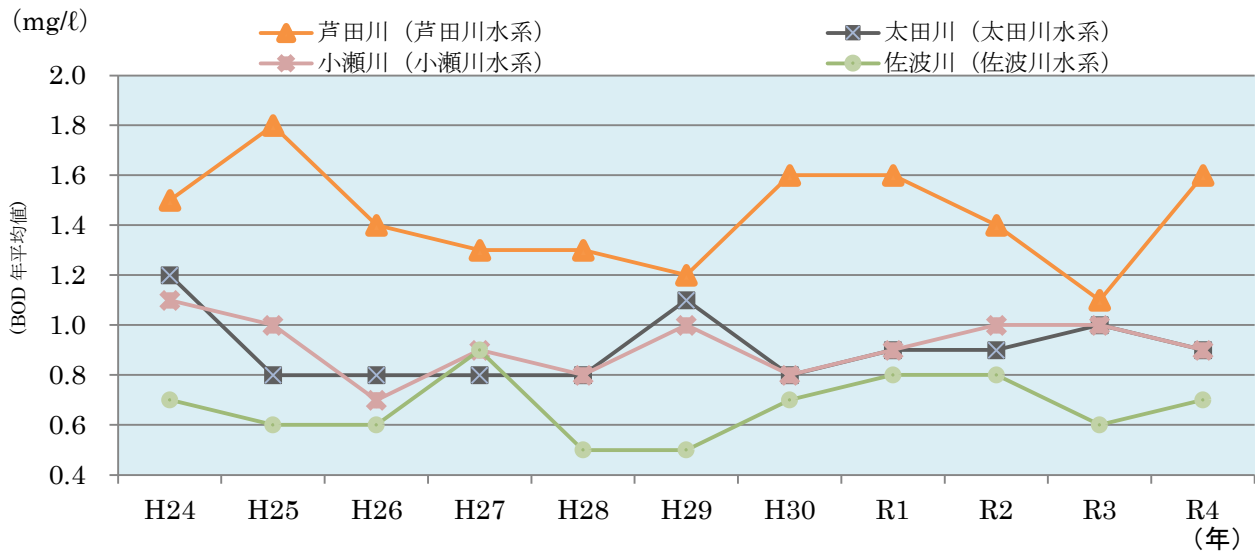
○島根県（ただし江の川は広島県を含む）



○岡山県



○広島県・山口県



令和 4 年 水質調査結果

2. 環境基準の満足状況

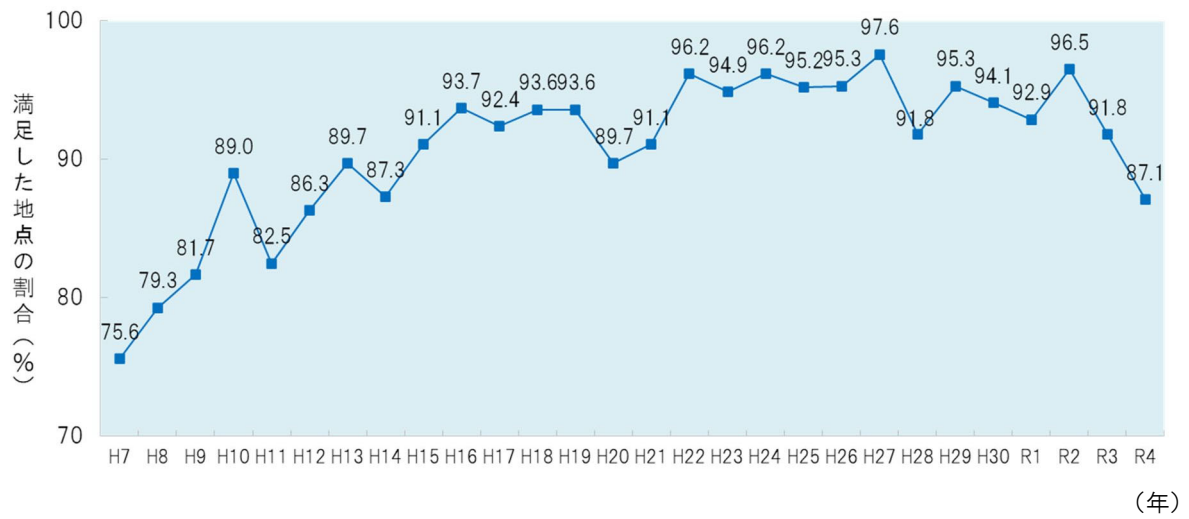
環境基準(BOD)を満足した地点の割合は、87.1%でした。^{※5}

生活環境の保全に関する環境基準項目のうち、環境基準(BOD)を満足した地点の割合は87.1%(74 地点/85 地点)で、高い割合を維持しています。^{※5}

- 河川類型指定地点のうち、令和 4 年に環境基準(BOD)を満足しなかった地点は、①用瀬地点(千代川水系千代川)1.4mg/ℓ[基準値:AA 類型 1mg/ℓ以下]、②佐貫地点(千代川水系千代川)1.7mg/ℓ[基準値:AA 類型 1mg/ℓ以下]、③稲常地点(千代川水系千代川)1.7mg/ℓ[基準値:AA 類型 1mg/ℓ以下]、④源太橋地点(千代川水系千代川)1.5mg/ℓ[基準値:AA 類型 1mg/ℓ以下]、⑤永安橋地点(吉井川水系吉井川)6.5mg/ℓ[基準値:B 類型 3mg/ℓ以下]、⑥桜橋地点(旭川水系旭川)4.6mg/ℓ[基準値:B 類型 3mg/ℓ以下]、⑦旭川大橋地点(旭川水系旭川)8.2mg/ℓ[基準値:B 類型 3mg/ℓ以下]、⑧山手橋地点(芦田川水系芦田川)2.1mg/ℓ[基準値:A 類型 2mg/ℓ以下]、⑨小水呑橋地点(芦田川水系芦田川)4.2mg/ℓ[基準値:B 類型 3mg/ℓ以下]、⑩川北地点(芦田川水系高屋川)2.3mg/ℓ [基準値:A 類型 2mg/ℓ以下]、⑪横尾地点(芦田川水系高屋川)3.3 mg/ℓ[基準値:B 類型 3mg/ℓ以下]、の 11 地点でした。^{※5}
- 河川類型指定地点のうち、令和 3 年に環境基準(BOD)を満足しなかった地点は、①稲常地点(千代川水系千代川)1.1mg/ℓ[基準値:AA 類型 1mg/ℓ 以下]、②源太橋地点(千代川水系千代川)1.1mg/ℓ[基準値:AA 類型 1mg/ℓ 以下]、③永安橋地点(吉井川水系吉井川)8.4 mg/ℓ[基準値:B 類型 3mg/ℓ 以下]、④旭川大橋地点(旭川水系旭川)3.3 mg/ℓ[基準値:B 類型 3mg/ℓ 以下]、⑤小水呑橋地点(芦田川水系芦田川)3.7 mg/ℓ[基準値:B 類型 3mg/ℓ 以下]、⑥川北地点(芦田川水系高屋川)2.3 mg/ℓ [基準値:A 類型 2mg/ℓ 以下]、⑦小川津地点(小瀬川水系小瀬川)1.1 mg/ℓ[基準値:AA 類型 1mg/ℓ 以下]、の7地点でした。^{※5}
- 湖沼類型指定地点のうち、令和 4 年に環境基準(COD)を満足した地点は、①渡町地点(斐伊川水系中海)2.8mg/ℓ [基準値:湖沼 A 類型 3mg/ℓ 以下]、②境水道中央部地点(斐伊川水系中海)2.5mg/ℓ [基準値:湖沼 A 類型 3mg/ℓ 以下]、③温井ダム地点(太田川水系滝山川)1.9mg/ℓ [基準値:湖沼 A 類型 3mg/ℓ 以下]、④弥栄ダム地点(小瀬川水系小瀬川)1.8mg/ℓ [基準値:湖沼 A 類型 3mg/ℓ 以下]の 4 地点でした。^{※6}

※5 河川の調査地点の合計 101 地点のうち、河川の類型指定がなされている 85 地点の BOD75%値で評価しています。

※6 湖沼の類型指定がなされている 21 地点の COD75%値で評価しています。



環境基準(BOD)を満足した地点の割合

令和4年 水質調査結果

3. 過去10年間の水質改善状況

過去10年間では、芦田川水系で水質改善が進んでいます。

過去10年間の水質改善状況を、地点毎のBOD年平均値の改善幅で比較すると、芦田川水系を中心に水質改善が進んでいます。

BOD年平均値の改善幅による過去10年間の水質改善状況

地点名(水系名河川名)	平成25年BOD 年平均値(mg/l)	令和4年BOD 年平均値(mg/l)	水質改善幅 (mg/l)
<small>やまてぼし</small> 山手橋(芦田川水系芦田川)	2.4	1.9	<u>0.5</u>
<small>なかつはら</small> 中津原(芦田川水系芦田川)	1.6	1.2	0.4
<small>かわきた</small> 川北(芦田川水系高屋川)	2.7	2.3	0.4
<small>すげさわ</small> 菅沢ダム(日野川水系印賀川)	1.4	1.0	0.4
<small>はまさか</small> 浜坂(千代川水系袋川)	1.9	1.6	0.3
<small>わけぼし</small> 和気橋(吉井川水系吉井川)	1.0	0.7	0.3
<small>たたいげき</small> 湛井堰(高梁川水系高梁川)	0.9	0.6	0.3
<small>くさ</small> 久佐(芦田川水系芦田川)	1.2	0.9	0.3
<small>おおわたりぼし</small> 大渡橋(芦田川水系芦田川)	1.1	0.8	0.3

注) 上表は、河川の調査地点の合計101地点のうち、水質改善幅が0.3mg/l以上の調査地点を抽出して作成しています。

令和4年 感覚的な水質指標による調査結果

感覚的な水質指標について

河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するために、調査の一部を住民の皆様と河川管理者との協働で実施しています。

普段親しんでいる身近な川で、ゴミの量や川のおいなどを実際に体感することで評価しています。

国土交通省では、河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するための指標を検討し、『今後の河川水質管理の指標について(案)』を平成 17 年 3 月に取りまとめました。感覚的な水質指標は、「①人と河川(湖沼)の豊かなふれあいの確保」、「②豊かな生態系の確保」、「③利用しやすい水質の確保」の3つの視点からなり、調査の一部を住民の皆様と河川管理者との協働で実施しています。

感覚的な水質指標による調査結果

①人と河川(湖沼)の豊かなふれあいの確保

1)人と河川の豊かなふれあいの確保

	河川の調査地点数
R3	13(13)
R4	21(8)

()は住民との協働による調査地点数

地点における年間評価ランク

	R4	割合(R4)
Aランク	4	19%
Bランク	7	33%
Cランク	10	48%
Dランク	0	0%
	21	100%

住民の皆様との協働項目

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル				糞便性大腸菌群数(個/100ml)
			ゴミの量	透視度(cm)	川底の感触	水におい	
A	顔を川の水につけやすい(泳ぎたいと思うきれいな川)		川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	不快感がない	不快でない	100以下
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	ところどころヌルヌルしているが、不快でない		1000以下
C	川の中には入れないが、川に近づけることができる		川の中や水際にゴミがあつて不快である	30以上	ヌルヌルしており不快である	水に鼻を近づけて不快な臭いを感じる 風下の水際に立つと不快な臭いを感じる	1000を超えるもの
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあつてとても不快である	30未満			

2)人と湖沼の豊かなふれあいの確保




	湖沼の調査地点数
R3	3(2)
R4	3(1)

()は住民との協働による調査地点数

地点における年間評価ランク

	R4	割合(R4)
Aランク	0	0%
Bランク	3	100%
Cランク	0	0%
Dランク	0	0%
	3	100%

住民の皆様との協働項目

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル					糞便性大腸菌群数(個/100ml)	
			ゴミの量	透視度(cm)	湖底の感触	水のおい	アオコ発生		
A	顔を湖沼の水につけやすい		湖沼の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない	50以上	快適である		不快でない	アオコは確認できない	100以下
B	湖沼の中に入って遊びやすい		湖沼の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	25以上	不快感が無い			肉眼では水面にアオコが確認できないが、水をくんで肉眼でよく見ると確認できる	1000以下
C	湖沼の中に入れないが、湖沼に近づくことができる		湖沼の中や水際にゴミがあって不快である	25未満	不快である		水に鼻を近づけて不快なおいを感じる	アオコがうっすらと筋状に発生していて、水面にわずかに散らばり肉眼で確認できる	1000を超えるもの
D	湖沼の水の魅力がなく、湖沼に近づきにくい		湖沼の中や水際にゴミがあっても不快である			水に鼻を近づけてとても不快なおいを感じる	アオコが湖面や湖岸の表面を広く多い、かたまりもできている		

②豊かな生態系の確保

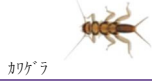



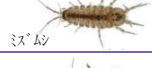


	調査地点数
R3	8(6)
R4	9(7)

()は住民との協働による調査地点数

地点における年間評価ランク

	R4	割合(R4)
Aランク	4	44%
Bランク	4	44%
Cランク	1	11%
Dランク	0	0%
	9	100%

住民の皆様との協働項目

ランク	説明	評価項目と評価レベル			
		DO(mg/l)	NH4-N(mg/l)	水生生物の生息	
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等	 
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	II. 少しきたない水 ・ゲンジボタル ・オオシマトビケラ等	 
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3以上	2.0以下	III. きたない水 ・ミズムシ ・ニホンドロソコエビ等	 
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの	IV. 大変きたない水 ・アメリカザリガニ ・エラミズ等	 

③利用しやすい水質の確保

	調査地点数
R3	6
R4	5

	R4	割合(R4)
Aランク	4	80%
Bランク	1	20%
Cランク	0	0%
Dランク	0	0%
	5	100%

ランク	説明	評価項目と評価レベル			
		安全性	快適性	維持管理性	維持管理性
		トリハロメタン生成能 ($\mu\text{g}/\ell$)	2-MB (ng/ℓ)	ジオスミン (ng/ℓ)	NH ₄ -N (mg/ℓ)
A	より利用しやすい	100 以下	5 以下	10 以下	0.1 以下
B	利用しやすい		20 以下	20 以下	0.3 以下
C	利用するためには高度な処理が必要	100 を超えるもの	20 を超えるもの	20 を超えるもの	0.3 を超えるもの

令和4年度 ダイオキシン類の実態調査結果

ダイオキシン類実態調査結果

全地点で水質・底質の環境基準を満足していました。

ダイオキシン類^{※7}について、平成11年度から継続的に調査しています。

令和4年度は、基準監視地点^{※8}19地点、補助監視地点^{※8}11地点の計30地点で調査した結果、全地点で環境基準^{※9}を満足していました。

ダイオキシン類の調査結果

水系名	河川名	調査地点名	調査時期	ダイオキシン類(水質)		ダイオキシン類(底質)	
				PCDD+PCDF +DL-PCB	評価値 (平均値)	PCDD+PCDF +DL-PCB	評価値 (最高値)
				pg-TEQ/ℓ	pg-TEQ/ℓ	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g
千代川	千代川	行徳	秋期	0.072	0.072	0.250	0.250
天神川	天神川	小田	秋期	0.082	0.082	0.240	0.240
日野川	日野川	車尾	秋期	0.075	0.075	0.220	0.220
		日野川堰	秋期	0.075	0.075	0.230	0.230
	印賀川	菅沢ダム	秋期	0.069	0.069	7.400	7.400
斐伊川	斐伊川	大津	秋期	0.130	0.130	0.210	0.210
		NO.3	秋期	0.077	0.077	25.000	25.000
	宍道湖	NO.5	秋期	0.077	0.077	15.000	15.000
		NO.1	秋期	0.071	0.071	8.700	8.700
		斐伊川河口	秋期	0.100	0.100	0.430	0.430
		松江温泉沖	秋期	0.071	0.071	0.270	0.270
		秋鹿沖	秋期	0.076	0.076	0.540	0.540
		玉湯町泉源沖	秋期	0.078	0.078	1.100	1.100
	中海	中海湖心	秋期	0.072	0.072	24.00	24.00
		大橋川河口	秋期	0.083	0.083	17.00	17.00
米子湾中央部		秋期	0.073	0.073	15.00	15.00	
江の川	江の川	桜江大橋	秋期	0.072	0.072	0.220	0.220
		江川橋	秋期	0.072	0.072	0.210	0.210
高津川	高津川	金地橋	秋期	0.067	0.067	0.250	0.250
		高津大橋	秋期	0.071	0.071	0.280	0.280
吉井川	吉井川	熊山橋	秋期	0.081	0.081	0.260	0.260
		坂根堰	秋期	0.087	0.087	0.280	0.280
		苫田ダム	秋期	0.068	0.068	6.100	6.100
旭川	旭川	乙井手堰	秋期	0.087	0.087	0.340	0.340
		百間川	清内橋	春期	0.420	0.440	7.100
	夏期		0.690	7.900			
	秋期		0.480	6.200			
	冬期		0.170	7.000			
高梁川	高梁川	霞橋	秋期	0.088	0.088	1.500	1.500
芦田川	芦田川	小水呑橋	秋期	0.230	0.230	0.740	0.740
太田川	太田川	壬辰橋	秋期	0.071	0.071	0.210	0.210
小瀬川	小瀬川	両国橋	秋期	0.093	0.093	0.240	0.240
佐波川	佐波川	新橋	秋期	0.074	0.074	0.220	0.220

※7 ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾーパラージオキシン(PCDD)』、『ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)』、『コプラナーポリ塩化ビフェニル(Co-PCB)』の3種の化合物群です。非意図的に生成され、毒性が非常に強く、残留性が高い物質です。

※8 調査の代表地点を「基準監視地点」、その補完地点を「補助監視地点」としています。

※9 水質:1pg-TEQ/ℓ以下、底質:150pg-TEQ/g以下

令和4年 水質事故等の発生状況

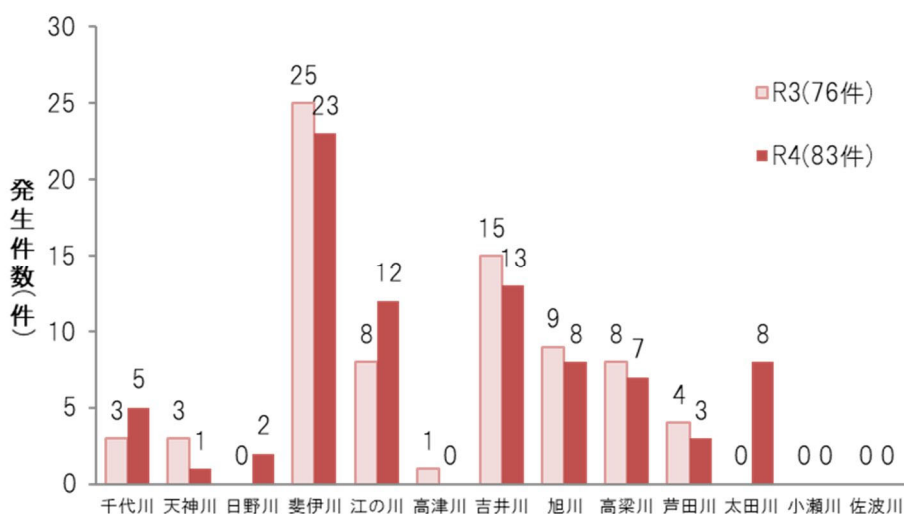
水質事故等の発生状況

中国地方整備局管内で確認された水質事故等は83件でした。

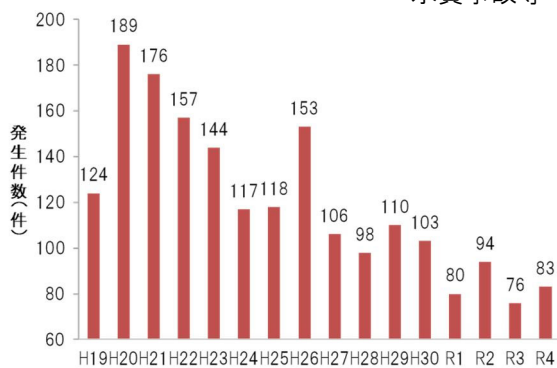
令和4年の水質事故等の確認件数は83件でした。

水系別では斐伊川水系の事故確認件数が23件と最も多く、原因物質別では、油類の流出によるものが82%、また、原因別では交通事故が28%を占めていました。今年度は事故に伴う取水停止が発生しませんでした。

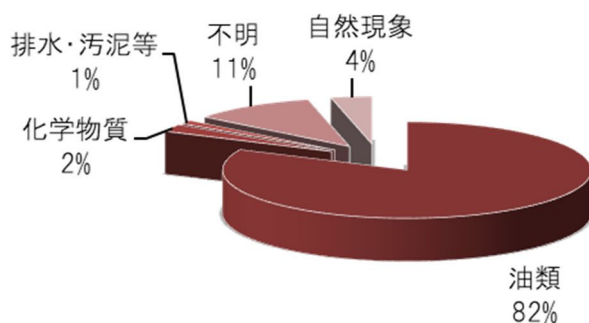
なお、中国地方全体の事故確認件数は平成20年をピークに減少傾向にあります。



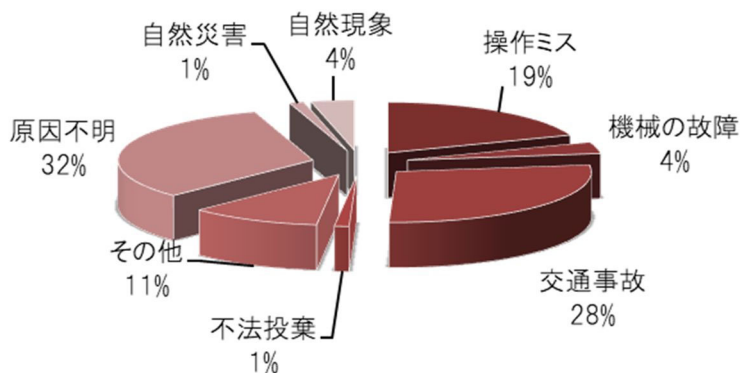
水質事故等 水系別の情報確認件数



水質事故等 情報確認件数の推移



令和4年 原因物質別割合



令和4年 原因別割合

用語の解説

BOD(生物化学的酸素要求量)

水中の有機物が、微生物によって酸化分解される際に消費される酸素量のこと、値が大きくなるほど水が汚れていることを表します。河川の汚れの程度を測る代表的な指標として用いられます。

COD(化学的酸素要求量)

水中の有機物が、酸化剤(過マンガン酸カリウムなど)によって化学的に酸化分解される際に消費される酸素量のこと、値が大きくなるほど水が汚れていることを表します。湖沼や海域の汚れの程度を測る代表的な指標として用いられます。

75%値

BOD や COD の年間測定結果が、環境基準に適合しているかどうかを評価する際に用いられる値です。計算方法は、1 年間で測定されたすべての値(日平均値)を、値の低い方から高い方に並べ、低い方から数えて $0.75 \times n$ 番目(n は日平均値のデータ数)に該当する値です。($0.75 \times n$ が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値となります。)例えば、BOD を毎月 1 回測定した場合、値の低い方から数えて $0.75 \times 12 = 9$ 番目の値が 75%値となります。

環境基準

環境基本法第 16 条により、人の健康の保護及び生活環境の保全のために維持されることが望ましい基準として定められたものです。そのうち、公共用水域の水質汚濁に係る環境基準としては、「人の健康の保護に関する環境基準(カドニウム、全シアンなど 27 項目とその基準値)」、生活環境の保全に関する環境基準(pH、BOD(湖沼は COD)など 5 項目とその基準値)」があります。

類型

生活環境の保全に関する環境基準では、水域の利用目的に応じて、類型(河川は AA~E の 6 類型)とその基準値が定められています。

河川の類型毎の環境基準値(BOD 75%値)

類型	基準値	類型	基準値
AA類型	1 mg/ℓ	O類型	5 mg/ℓ
A類型	2 mg/ℓ	D類型	8 mg/ℓ
B類型	3 mg/ℓ	E類型	10 mg/ℓ

令和 4 年中国地方一級河川の水質現況 概要パンフレット
Recent conditions of water quality of class A rivers in Chugoku region

<http://www.cgr.mlit.go.jp/>



国土交通省 中国地方整備局

〒730-8530

広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 2 号館

Tel. 082-221-9231(代表)

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Chugoku Regional Development Bureau

令和4年

中国地方一級河川の水質現況
(詳細資料)

令和5年7月

中国地方整備局

◆水質調査地点一覧表(河川)

ダム地点における測定値は、地点名に表層と併記している値以外は、全層の値を記載しています。			
凡例	水域類型指定・類型	河川AA BOD 1.0mg/ℓ以下	河川C BOD 5.0mg/ℓ以下
		河川A BOD 2.0mg/ℓ以下	河川D BOD 8.0mg/ℓ以下
		河川B BOD 3.0mg/ℓ以下	河川E BOD 10.0mg/ℓ以下

	水質が良好な地点(BOD年平均値が0.5mg/ℓ)
	前年から今年にかけて環境基準を満足した地点
	BOD75%値が環境基準を満足していない地点

地点区分◎・・・環境基準点

水系名	河川名	水域類型指定		No.	水質調査地点名	地点区分	代表地点	感潮	調査地点地先名	備考	BOD平均値(mg/l)		BOD75%値(mg/l)													
		指定年月日	機関								指定区間	類型	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年										
千代川	千代川	46.9.14	県	有富川との合流点より上流	AA	1	用瀬	◎	○	鳥取県鳥取市用瀬町用瀬		1.4	1.1	1.4	1.0											
					AA	2	佐貫	◎	○	鳥取県鳥取市河原町佐貫		1.3	0.8	1.7	0.9											
					AA	3	稲常	◎	○	鳥取県鳥取市河原町稲常		1.3	1.0	1.7	1.1											
					AA	4	源太橋	◎	○	鳥取県鳥取市源太		1.3	1.5	1.5	1.1											
				有富川との合流点より下流	A	5	行徳	◎	○	鳥取県鳥取市行徳		1.4	1.0	1.8	1.1											
					A	6	賀露	◎	○	鳥取県鳥取市賀露		1.4	1.1	1.7	1.4											
	袋川			未指定	—	7	中郷橋				鳥取県鳥取市国府町中郷		2.1	1.7	2.0	1.6										
	袋川			未指定	—	8	秋里				鳥取県鳥取市秋里		2.2	1.4	2.8	1.6										
	袋川			未指定	—	9	谷						1.5	1.0	1.9	1.1										
																	10	宮ノ下			鳥取県鳥取市国府町宮ノ下		1.6	0.9	1.8	1.1
	新袋川			未指定	—	11	美保橋				鳥取県鳥取市美保		1.5	1.2	1.8	1.2										
	袋川			未指定	—	12	浜坂			○	鳥取県鳥取市浜坂		1.6	1.6	1.6	1.9										
天神川	天神川	46.9.14	県	小鴨川との合流点より上流	AA	13	今泉	◎	○	鳥取県東伯郡三朝町今泉		0.5	0.5	0.5	0.5											
					AA	14	大原	◎	○	鳥取県倉吉市大原		0.5	0.5	0.5	0.5											
				小鴨川との合流点より下流	A	15	小田	◎	○	鳥取県倉吉市小田		0.5	0.5	0.5	0.5											
					A	16	田後	◎	○	鳥取県東伯郡北栄町田後		0.5	0.5	0.5	0.5											
	小鴨川			未指定	—	17	関金			○			0.5	0.5	0.5	0.5										
																	18	河原町		○	鳥取県倉吉市河原町		0.5	0.5	0.5	0.5
																	19	巖城		○	鳥取県倉吉市巖城		0.5	0.5	0.5	0.5
	国府川			未指定	—	20	福光				鳥取県倉吉市大福光		0.5	0.6	0.5	0.6										
日野川	日野川	46.9.14	県	旧日野橋より上流	AA	21	溝口	◎	○	鳥取県西伯郡伯耆町溝口		0.6	0.7	0.6	0.8											
					AA	22	八幡	◎	○	鳥取県米子市東八幡		0.6	0.7	0.6	0.7											
				旧日野橋より下流	A	23	車尾	◎	○	鳥取県米子市車尾		0.7	0.7	0.8	0.8											
					A	24	皆生	◎	○	鳥取県米子市皆生町新田		0.7	0.7	0.7	0.9											
	法勝寺川			未指定	—	25	法勝寺			○			0.7	0.8	0.8	1.0										
																	26	福市		○	鳥取県米子市兼久		0.7	0.9	0.8	1.1
																	27	菅沢ダム(表層)			鳥取県日野郡日南町菅沢		1.0	1.2	1.2	1.5
斐伊川	斐伊川	48.6.29	県	斐伊川本川	AA	28	里熊(里熊大橋)	◎	○	島根県雲南市木次町里方		0.5	0.8	0.5	1.0											
					AA	29	大津(神立橋)	◎	○	島根県出雲市大津町		0.5	0.7	0.6	0.8											
					—	30	尾原ダムダムサイト			島根県雲南市木次町北原		0.8	1.1	1.0	1.1											
	神戸川	50.4.11	県	稗原川合流点より下流	A	31	馬木	◎		島根県出雲市馬木町		0.6	0.6	0.7	0.6											
					A	32	神戸川河口	◎		島根県出雲市西園町		0.8	0.8	0.9	0.7											
					—	33	志津見ダムダムサイト			島根県飯石郡飯南町角井		0.7	0.6	0.7	0.6											

◆水質調査地点一覧表(河川)

ダム地点における測定値は、地点名に表層と併記している値以外は、全層の値を記載しています。			
凡例	水域類型指定・類型	河川AA BOD 1.0mg/ℓ以下	河川C BOD 5.0mg/ℓ以下
		河川A BOD 2.0mg/ℓ以下	河川D BOD 8.0mg/ℓ以下
		河川B BOD 3.0mg/ℓ以下	河川E BOD 10.0mg/ℓ以下

■	水質が良好な地点(BOD年平均値が0.5mg/ℓ)
■	前年から今年にかけて環境基準を満足した地点
■	BOD75%値が環境基準を満足していない地点

地点区分◎・・・環境基準点

水系名	河川名	水域類型指定			No.	水質調査地点名	地点区分	代表地点	感潮区間	調査地点地先名	備考	BOD平均値(mg/l)		BOD75%値(mg/l)		
		指定年月日	機関	指定区間								類型	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
												令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	
江の川	江の川 上流	48. 3.31	国	全 域	A	34	吉 田		○	広島県安芸高田市吉田町内堀		0.8	1.0	0.8	1.1	
					A	35	粟 屋		○	広島県三次市粟屋町		0.8	1.0	0.7	1.3	
					A	36	尾関山		○	広島県三次市三次町五日市		1.1	0.9	1.4	1.1	
			48. 3.31	国	全 域	A	37	三国橋	◎	○	広島県三次市作木町		1.1	0.8	1.5	1.0
		馬洗川	51. 4.13	県	全 域	A	38	南畑敷	◎		広島県三次市南畑敷町		1.3	0.9	1.6	1.0
		上下川	51. 4.13	県	全 域	A	39	ダムサイト(灰塚ダム)	◎		広島県三次市三良坂町		1.4	1.2	1.6	1.3
		西城川	51. 4.13	県	全 域	A	40	三 次	◎		広島県三次市三次町太才		1.1	0.8	1.4	0.9
		神野瀬川	51. 4.13	県	全 域	A	41	神野瀬川	◎		広島県三次市三次町		1.1	0.8	1.4	0.9
		江の川 下流	48. 3.31	国	全 域	A	42	都賀大橋		○	島根県邑智郡美郷町都賀		0.7	0.7	0.8	0.9
	A					43	川本大橋	◎	○	島根県邑智郡川本町川本		0.7	0.8	0.9	0.9	
A	44					桜江大橋	◎	○	島根県江津市桜江町		0.7	0.8	0.9	0.9		
A	45					川 平		○	島根県江津市川平町		0.6	0.8	0.7	1.0		
					A	46	江川橋	◎	○	島根県江津市本町		0.7	0.8	0.8	0.9	
高津川	高津川	49. 4.12	県	飯田吊橋より上流	AA	47	神田橋		○	島根県益田市市向横田町大滝		0.6	0.7	0.7	0.8	
					AA	48	金地橋	◎	○	島根県益田市市虫追町		0.6	0.7	0.7	0.8	
				飯田吊橋より下流	A	49	高 角		○	島根県益田市市高津町		0.6	0.8	0.6	0.9	
					A	50	高津大橋	◎	○	島根県益田市市高津町		0.6	0.8	0.7	0.9	
吉井川	吉井川	46. 5.25	国	嵯峨堰より下流	B	51	和気橋		○	岡山県和気郡和気町大田原		0.7	0.9	0.8	0.9	
					B	52	熊山橋	◎	○	岡山県赤磐市熊山町河原田		0.8	0.7	0.9	0.8	
					B	53	弓削橋		○	岡山県岡山市東区瀬戸町弓削	旧瀬戸山(昭和44年4月名称変更)	0.7	0.7	0.9	0.8	
					B	54	備前大橋		○	岡山県岡山市東区吉井		1.1	1.0	1.1	1.2	
					B	55	鴨越堰		○	岡山県岡山市東区久保		1.2	1.1	1.5	1.5	
					B	56	永安橋		○	岡山県岡山市東区西大寺南2丁目		7.5	7.5	6.5	8.4	
	金剛川	48. 4.17	県	全 域	A	57	宮 橋	◎		岡山県和気郡和気町尺所		0.8	0.6	1.0	0.7	
旭 川	旭 川	46. 5.25	国	湯原ダムから乙井手堰まで	A	58	合同堰		○	岡山県岡山市北区玉柏		0.7	0.7	0.7	0.7	
					A	59	乙井手堰	◎	○	岡山県岡山市北区三野2丁目		0.7	0.7	0.8	0.7	
				乙井手堰より下流	B	60	相生橋		○	岡山県岡山市北区内山下2丁目		0.7	0.6	0.7	0.5	
					B	61	桜 橋	◎	○	岡山県岡山市北区船頭町		6.7	1.6	4.6	1.7	
	B	62	旭川大橋		○	岡山県岡山市中区平井		5.5	3.1	8.2	3.3					
百間川	46. 5.25	国	全 域	C	63	清内橋	◎		岡山県岡山市中区沖元		3.1	2.8	4.1	3.8		
高梁川	高梁川	45. 9. 1	国	成羽川合流点から湛井堰まで	A	64	湛井堰	◎	○	岡山県総社市并尻野		0.6	0.6	0.6	0.7	
					湛井堰より下流	B	65	川辺橋		○	岡山県倉敷市真備町川辺		0.7	0.6	0.8	0.7
						B	66	笠井堰		○	岡山県倉敷市酒津		0.7	0.7	0.8	0.8
	B	67	霞 橋	◎	○	岡山県倉敷市玉島上成		1.5	1.1	1.7	1.2					
小田川	49. 5.10	県	淀平堰より下流	B	68	福松橋	◎		岡山県倉敷市真備町箭田	旧松尾橋(昭和45年4月名称変更)	2.2	1.4	2.7	1.5		

◆水質調査地点一覧表(河川)

ダム地点における測定値は、地点名に表層と併記している値以外は、全層の値を記載しています。			
	河川AA BOD 1.0mg/ℓ以下	河川C BOD 5.0mg/ℓ以下	
凡例	水域類型指定・類型	河川A BOD 2.0mg/ℓ以下	河川D BOD 8.0mg/ℓ以下
		河川B BOD 3.0mg/ℓ以下	河川E BOD 10.0mg/ℓ以下

■	水質が良好な地点(BOD年平均値が0.5mg/ℓ)
■	前年から今年にかけて環境基準を満足した地点
■	BOD75%値が環境基準を満足していない地点

地点区分◎・・・環境基準点

水系名	河川名	水域類型指定			No.	水質調査地点名	地点区分	代表地点	感潮区間	調査地点地先名	備考	BOD平均値(mg/l)		BOD75%値(mg/l)					
		指定年月日	機関	指定区間								類型	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年			
																	令和4年	令和3年	令和4年
芦田川	芦田川	48. 2.27	県	府中大橋より上流	A	69	久 佐		○	広島県府中市久佐町		0.9	0.6	1.0	0.6				
					A	70	大渡橋		○	広島県府中市篠根町定国		0.8	0.6	1.0	0.6				
					A	71	府中大橋	◎	○	広島県府中市土生町		1.0	0.7	1.1	0.7				
				府中大橋から高屋川合流点まで	A	72	上戸手	◎	○	広島県福山市新市町戸手		1.1	0.9	1.4	0.8				
					A	73	中津原	◎	○	広島県福山市御幸町中津原		1.2	1.0	1.4	1.1				
					A	74	山手橋	◎	○	広島県福山市南本庄町		1.9	1.6	2.1	2.0				
	高屋川	48. 2.27	県	岡山県境からJR福塩線橋梁まで	A	77	川 北	◎		広島県福山市神辺町川北		2.3	2.2	2.3	2.3				
					B	78	横 尾	◎		広島県福山市御幸町中津原		2.8	2.2	3.3	2.4				
太田川	太田川	50. 6.13	県	明神橋から行森川合流点まで	A	79	柴木川下流	◎	○	広島県山県郡安芸太田町小原		0.7	0.9	0.8	1.0				
					A	80	加 計	◎	○	広島県山県郡安芸太田町加計		0.8	0.8	0.9	1.0				
					A	81	高山川下流	◎	○	広島県広島市安佐北区安佐町久地		0.7	1.0	0.8	1.1				
					A	82	壬辰橋	◎	○	広島県広島市安佐北区安佐町飯室		0.8	1.0	0.9	1.2				
					45. 9. 1	国	行森川合流点から祇園水門まで	A	83	太田川橋		○	広島県広島市安佐南区八木8丁目		0.8	1.0	1.0	1.2	
								A	84	玖 村		○	広島県広島市安佐北区落合2丁目		0.9	1.0	0.8	1.1	
								A	85	矢口川上流		○	広島県広島市安佐北区口田1丁目		0.9	1.0	1.1	1.2	
								B	86	旭 橋	◎	○	○	広島県広島市西区南観音町4丁目		1.4	1.3	1.4	1.5
					滝山川	50. 6.13	県	全 域	A	87	滝山川河口	◎		広島県山県郡安芸太田町加計		0.8	1.0	0.9	1.3
					根谷川	50. 6.13	県	代田一合橋より下流	B	88	根の谷橋	◎		広島県広島市安佐北区深川2丁目		0.9	1.2	1.0	1.3
	三篠川	50. 6.13	県	全 域	A	89	深川橋	◎		広島県広島市安佐北区深川1丁目		0.9	1.2	1.1	1.4				
	古川	50. 6.13	県	安川合流点より下流	B	90	東 原	◎		広島県広島市安佐南区東原1丁目		1.0	1.3	1.2	1.3				
	天満川	45. 9. 1	国	全 域	A	91	昭和大橋	◎	○	広島県広島市中区舟入南3丁目		1.4	1.3	1.7	1.6				
	旧太田川	45. 9. 1	国	全 域	A	92	舟入橋	◎	○	広島県広島市中区吉島		1.4	1.1	1.8	1.3				
	元安川	45. 9. 1	国	全 域	A	93	南大橋	◎	○	広島県広島市中区大手町5丁目		1.5	1.1	1.7	1.3				
小瀬川	小瀬川	48. 3.31	国	前瀬橋より上流	AA	94	小川津	◎	○	山口県岩国市小瀬小川津		0.8	0.9	1.0	1.1				
					A	95	両国橋	◎	○	広島県大竹市木野1丁目		0.9	1.1	1.1	1.4				
					B	96	大和橋	◎	○	○	広島県大竹市本町		1.0	1.0	1.3	1.2			
佐波川	佐波川	47. 6.15	県	佐野堰より上流	A	97	堀		○	山口県山口市徳地堀字上清水		0.7	0.6	0.7	0.6				
					A	98	漆 尾	◎	○	山口県山口市徳地伊賀地字上沖の原		0.7	0.7	0.7	0.7				
					A	99	真 尾		○	山口県防府市大字真尾字小池		0.6	0.5	0.6	0.5				
					A	100	新 橋	◎	○	山口県防府市新橋町新橋		0.6	0.7	0.7	0.7				
				B	101	佐波川大橋	◎	○	○	山口県防府市植松		0.7	0.7	1.0	0.7				

調査地点数 101 地点

◆水質調査地点一覧表(湖沼)

測定値は全層の値を記載しています。
 凡例 水域類型指定・類型
 湖沼AA COD 1.0mg/ℓ以下 湖沼B COD 5.0mg/ℓ以下
 湖沼A COD 3.0mg/ℓ以下 湖沼C COD 8.0mg/ℓ以下

地点区分 ◎ .. 環境基準地点
 COD75%値が環境基準を満足している地点

水系名	河川名	水域類型指定			No.	水質調査地点名	地点区分	感潮区分	調査地点地先名	備考	COD平均値(mg/l)		COD75%値(mg/l)		
		指定年月日	機関	指定区間							類型	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年
斐伊川	宍道湖	S48. 6.29	県	宍道湖(大橋川含む)	湖沼A	102	宍道湖 No.1 (S-1)	◎	○	島根県松江市嫁島町		4.8	4.9	5.1	5.1
					湖沼A	103	宍道湖 No.3 (S-3)	◎	○	島根県松江市岡本町		4.8	4.8	4.6	5.0
					湖沼A	104	宍道湖 No.5 (S-6)		○	島根県出雲市島村町		4.9	4.8	5.0	5.1
	中海	S47.10.31	県	中海及び境水道	湖沼A	105	矢田 (S-5)	◎	○	島根県松江市矢田町		4.5	4.3	4.7	4.6
					湖沼A	106	大橋川河口 (N-1)	◎	○	島根県松江市富士見町		3.8	3.8	4.1	4.1
					湖沼A	107	意東鼻沖 (N-2)	◎	○	島根県松江市東出雲町錦浜		3.8	3.8	4.2	4.2
					湖沼A	108	羽入川河口 (N-5)	◎	○	島根県松江市東出雲町下意東		3.8	3.9	4.3	4.3
					湖沼A	109	中海湖心 (N-6)	◎	○	島根県松江市八束町		3.5	3.4	4.0	3.6
					湖沼A	110	飯梨川河口 (N-3)	◎	○	島根県安来市赤江町		3.5	3.4	3.8	3.8
					湖沼A	111	安来港 (N-4)	◎	○	島根県安来市亀島町		3.6	3.7	3.7	3.8
					湖沼A	112	米子湾中央部	◎	○	鳥取県米子市西町		4.4	4.3	4.8	4.9
湖沼A	113	渡町		○	鳥取県境港市渡町		2.7	2.7	2.8	2.9					
湖沼A	114	境水道中央部	◎	○	鳥取県境港市栄町		2.4	2.2	2.5	2.5					
湖沼A	115	長海町 (NH-1)	◎	○	島根県松江市長海町		3.4	3.4	3.7	3.7					
湖沼A	116	本庄		○	島根県松江市本庄町		3.6	3.7	4.0	4.3					
湖沼A	117	上宇部尾町 (NH-2)	◎	○	島根県松江市上宇部尾町		3.7	3.8	4.4	4.1					
江の川	江の川	H22.9.24	国	貯水池全域	湖沼A	118	土師ダム	◎		広島県安芸高田市八千代町	H13.3.30類型指定	3.1	2.7	3.5	3.2
芦田川	芦田川	H17.4.25	県	貯水池全域	湖沼A	119	八田原ダム	◎		広島県世羅郡世羅町大字小谷		2.8	2.8	3.3	3.1
太田川	滝山川	H18.3.2	県	貯水池全域	湖沼A	120	温井ダム	◎		広島県山県郡安芸太田町加計		1.8	2.0	1.9	2.0
小瀬川	小瀬川	H22.9.24	国	貯水池全域	湖沼A	121	弥栄ダム	◎		広島県大竹市小方町小方	H13.3.30類型指定	1.6	1.6	1.8	1.6
佐波川	島地川	S63. 4. 5	県	貯水池全域	湖沼A	122	島地川ダム	◎		山口県周南市大字高瀬字青ヶ平291-5		3.1	2.9	3.6	3.1

調査地点数 21 地点

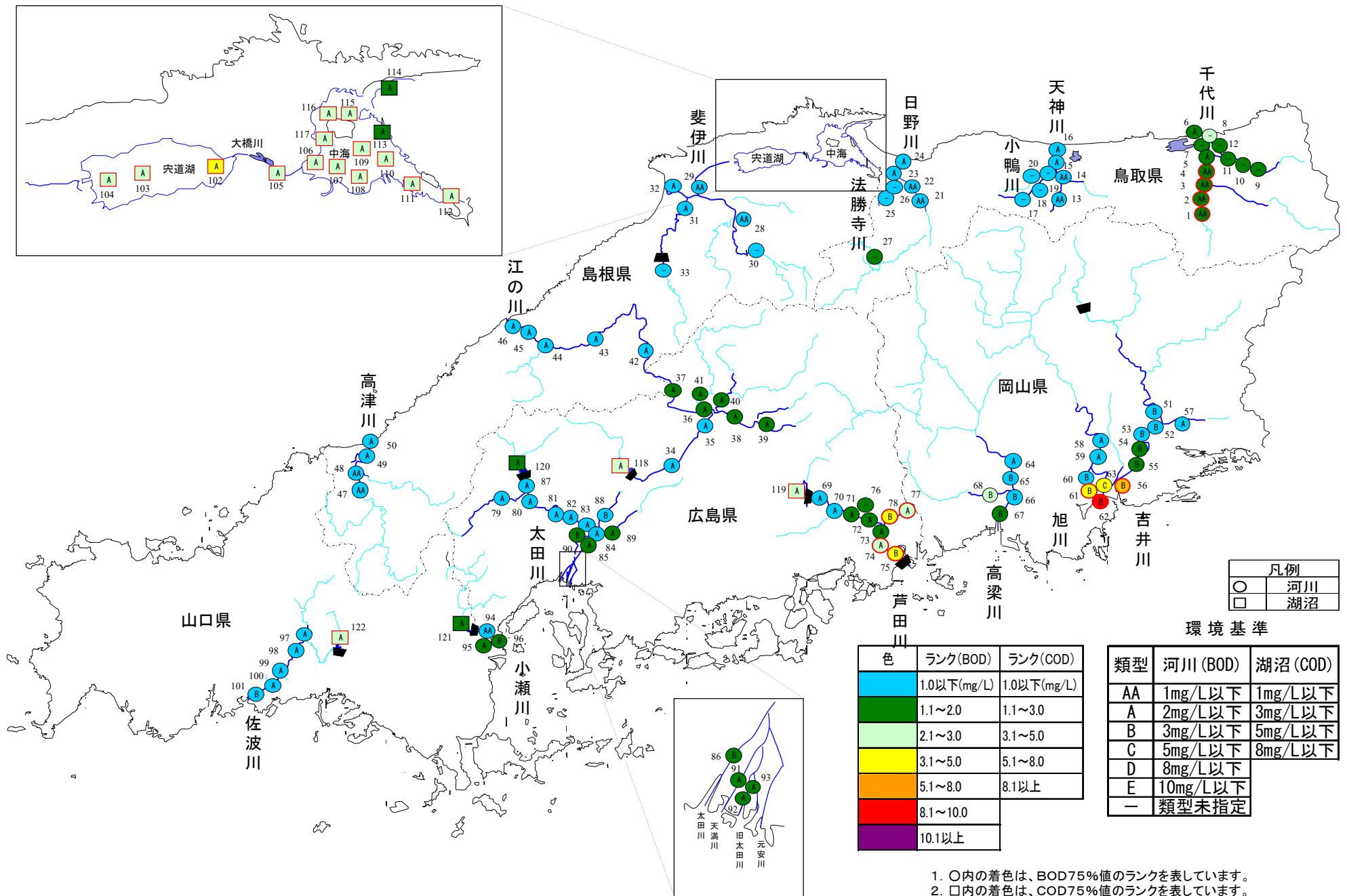


図 中国地方一級河川の水質状況図

- 内の着色は、BOD75%値のランクを表しています。
- 内の着色は、COD75%値のランクを表しています。
- 及び□内の記号は、環境基準の類型です。
- 及び□は、環境基準を満足していない地点です。
- 数字は、別表に示す調査地点番号です。

令和4年

水生生物による水質の簡易調査の実施結果

中国地方整備局

調査状況 - 1

千代川水系 千代川 ふるいち 古市地点 (鳥取県)



千代川水系 袋川 おおくい 大杵地点 (鳥取県)



天神川水系 天神川 くらよしおおはし 倉吉大橋地点 (鳥取県)



天神川水系 小鴨川 かみおがもみずべのがっこう 上小鴨水辺の楽校地点 (鳥取県)



斐伊川水系 宍道湖 くらこうなぎさこうえん 空港なぎさ公園地点 (鳥根県)



日野川水系 日野川 ぐずもせきかりゅう 車尾堰下流地点 (鳥取県)

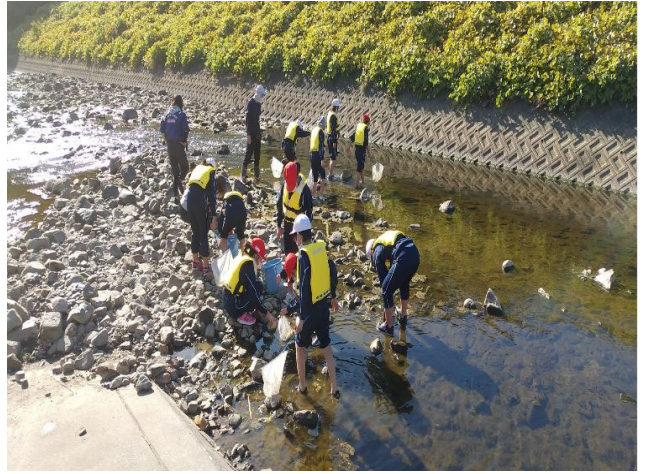


調査状況 - 2

かつらちくみずべのがっこう
江の川水系 江の川 桂地区水辺の楽校地点 (広島県)



しんすがたばしかりゅう
江の川水系 国兼川 新管田橋下流地点 (広島県)



こんごうがわみずべのがっこう
吉井川水系 金剛川 金剛川水辺の楽校地点 (岡山県)



やまてばし
芦田川水系 芦田川 山手橋地点 (広島県)



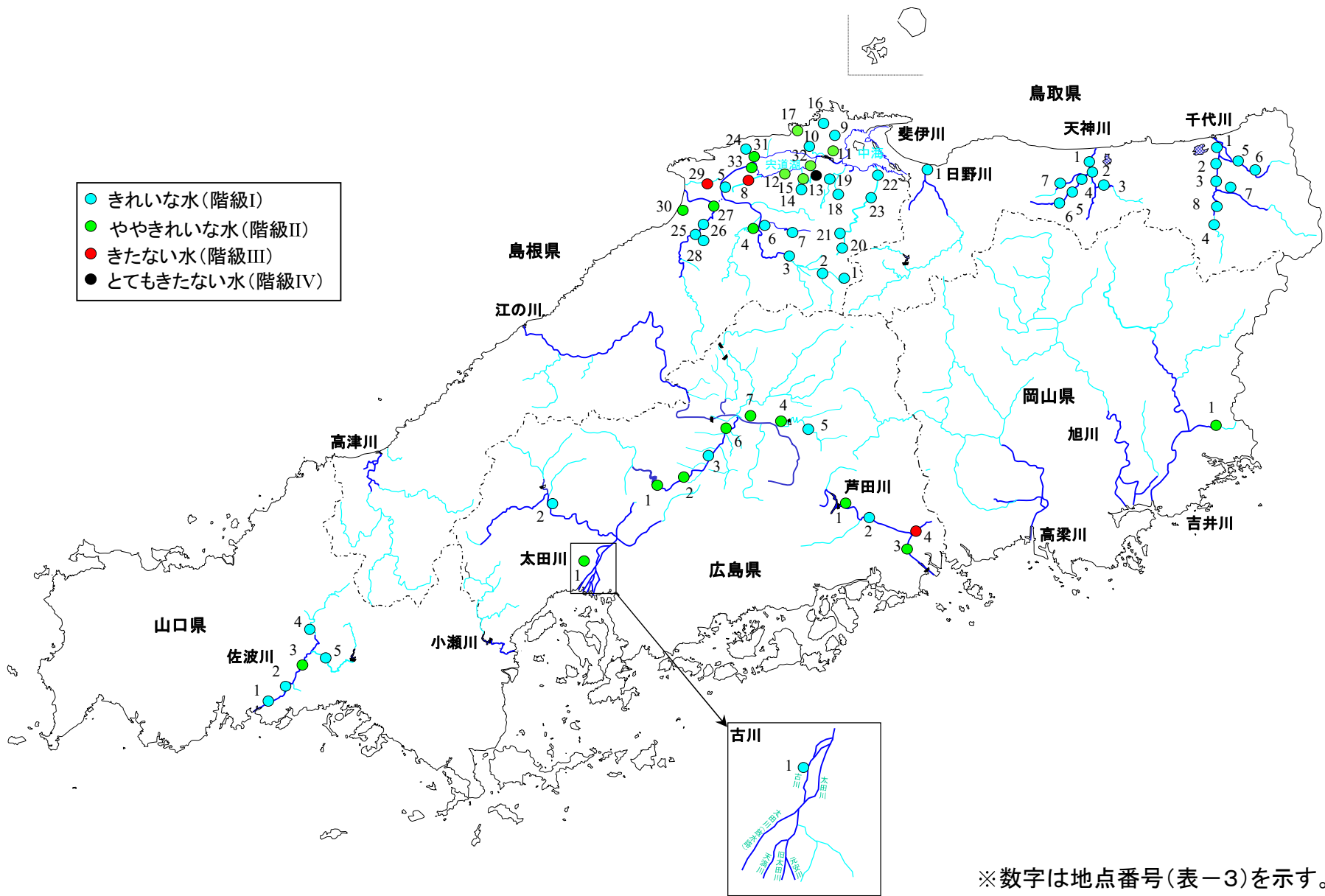
まつはらばしふきん
太田川水系 古川 松原橋付近地点 (岡山県)



ほんばし
佐波川水系 佐波川 本橋地点 (山口県)



- きれいな水(階級I)
- ややきれいな水(階級II)
- きたない水(階級III)
- とてもきたない水(階級IV)



※数字は地点番号(表-3)を示す。

調査地点概要図(中国地方整備局)

1. 調査の目的

川底にどのような生物が住んでいるかを調べることにより、河川の比較的長い期間の水質の状態を知ることができます。

そのため、国土交通省と環境省では、それぞれ昭和59年から「水生生物による水質の簡易調査」（以下「水生生物調査」という。）をはじめています。

水生生物調査は、誰にでも簡単に水質の判定ができるので、小学生を中心に、中学生、高校生等、多くの方々に参加していただき、私達の身近な存在である河川に対して、河川愛護や水質浄化等への関心を高めてもらうことも目的として実施しています。

2. 参加者数と調査地点数

中国地方の一級河川の68地点において、小学生を中心に、57団体、延べ2,321名の参加を得て実施

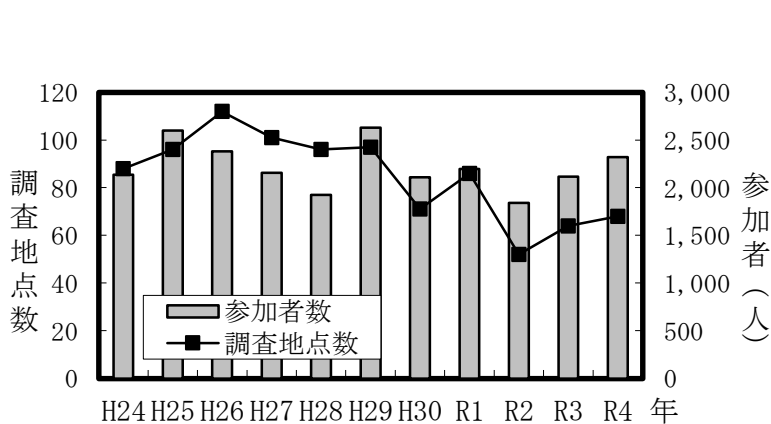


図-1 参加者数と調査地点数

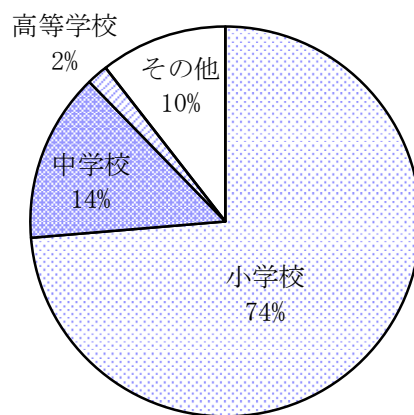


図-2 令和4年 調査参加団体構成比

令和4年の調査は、中国地方の一級河川の68地点において、6月から10月にかけて、57団体、延べ2,321人の参加を得て実施しました（P. 7 表-2 参照）。

多くの子供達に参加していただいたことで、大変貴重なデータを得ることができました。子供達にとっても、水に親しみながら調査をしたことで”きれいな川”に対する具体的なイメージを持っていただく機会になったと思います。

3. 調査の方法

水生生物調査は、国土交通省水管理・国土保全局編「川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～」に基づいて、川底に生息する水生生物を採取し、表－1に示す『水のきれいさ』の指標となっている生物の種類数と個体数により、川の水質状況を判定するものです。

表－1 水のきれいさの程度（階級）とその指標となる生物

きれいな水（階級Ⅰ）	ややきれいな水（階級Ⅱ）
ナミウズムシ ヒラタカゲロウ類 ヘビトンボ ヤマトビケラ類 アミカ類	サワガニ カワゲラ類 ナガレトビケラ類 ブユ類 ヨコエビ類
カワニナ類 コガタシマトビケラ類 ヒラタドROMシ類 ○ヤマトシジミ	コオニヤンマ オオシマトビケラ ゲンジボタル ○イシマキガイ
きたない水（階級Ⅲ）	とてもきたない水（階級Ⅳ）
タニシ類 ミズムシ ○ニホンドロソコエビ	シマイシビル ミズカマキリ ○イソコツブムシ類
	サカマキガイ アメリカザリガニ チョウバエ類

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物

<階級の判定方法>

- ・調査地点毎に、見つかった個体数の多かった指標生物2種類（ただし、3種類の指標生物がほぼ同じ個体数であった場合は、最大3種類）に2点、それ以外の指標生物に1点をつける。
 - ・各階級毎に各指標生物の点数を合計する。
 - ・合計点数のもっとも多い階級をその地点の水質階級と判定する。
 - ・ただし、複数の階級が同点の場合は、水質の良い階級をその地点の階級とする。
- 例えば、階級Ⅰと階級Ⅱが同点の場合は階級Ⅰとする。

4. 調査結果概要

階級Ⅰと階級Ⅱに判定された地点が全体の94%

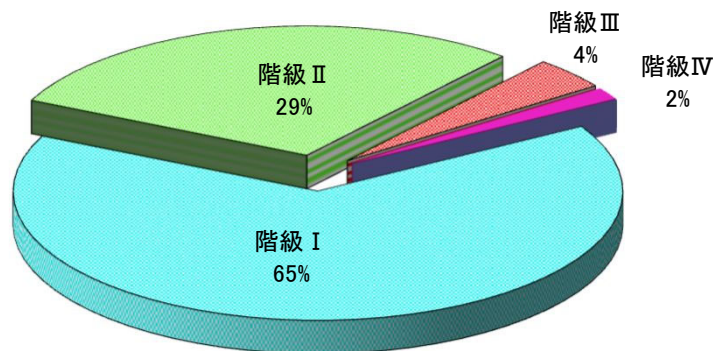


図-3 令和4年 水質階級構成比

水生生物調査68地点の判定結果は、きれいな水（階級Ⅰ）が44地点、ややきれいな水（階級Ⅱ）が20地点、きたない水（階級Ⅲ）が3地点、とてもきたない水（階級Ⅳ）が1地点でした。

きれいな水（階級Ⅰ）とややきれいな水（階級Ⅱ）に判定された地点が全体の94%であり、中国地方の一級河川の水質は概ね良好な状態でした。

今後も、水質の良好な状態を保つため、生活排水などが河川の水質に及ぼす影響について、関心をもっていただきたいと思います。

中国地方の一級河川の水質は、良好な状態を維持

図-4は、過去10年間の水質階級を表したものです。きれいな水（階級Ⅰ）とややきれいな水（階級Ⅱ）の比率は93~97%で推移しており、中国地方の一級河川の水質は、継続的に概ね良好な状態を維持しています。

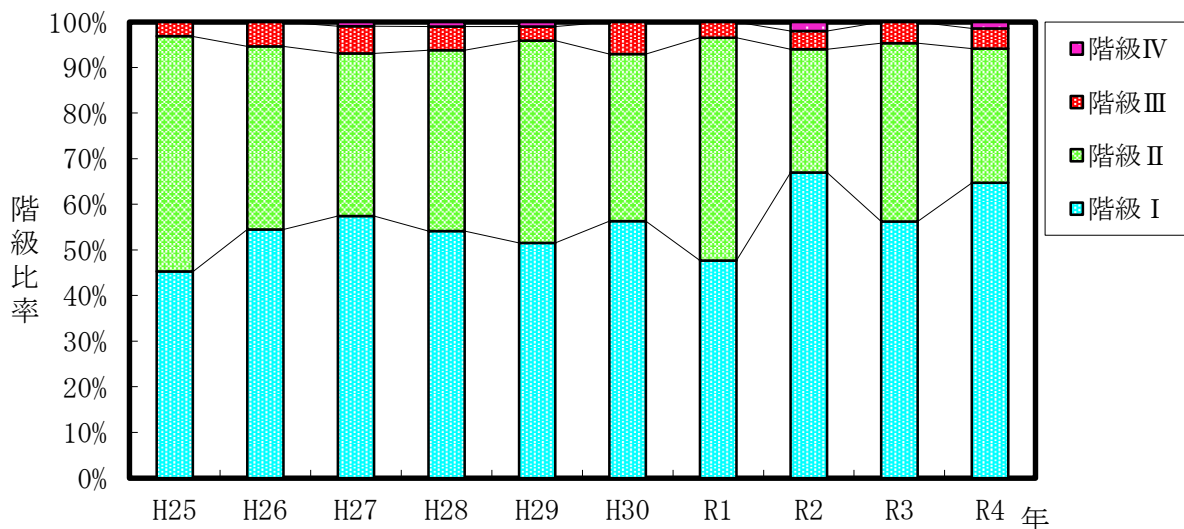


図-4 判定水質階級比率の推移

5. 河川別参加者数、参加団体等集計

表－2 水生生物調査 「令和4年実施結果」

県名	水系名	調査地点数 (地点)	参加者数 (人)	参加団体数 (団体)	判定階級 (地点)			
					I	II	III	IV
鳥取県	千代川	8	221	8	8	0	0	0
	天神川	7	148	6	7	0	0	0
	日野川	1	37	1	1	0	0	0
島根県	斐伊川	33	1484	26	20	10	2	1
	江の川下流	-	-	-	-	-	-	-
	高津川	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	吉井川	1	19	1	0	1	0	0
	旭川	-	-	-	-	-	-	-
	高梁川	-	-	-	-	-	-	-
広島県	江の川上流	7	295	6	2	5	0	0
	芦田川	4	14	2	1	2	1	0
	太田川	2	20	2	1	1	0	0
広島県・山口県	小瀬川	-	-	-	-	-	-	-
山口県	佐波川	5	83	5	4	1	0	0
合計		68	2,321	57	44	20	3	1
					65%	29%	4%	2%
前年 (令和3年)		64	2,116	50	36	25	3	0
					56%	39%	5%	0%

※“-”は調査を実施していない水系です。

【参加団体内訳】		
小学校	42団体	2,048人
中学校	8団体	135人
高等学校	1団体	20人
その他	6団体	118人

57団体 2,321人

